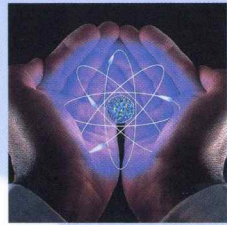


About Us

社訓について	1
会社理念	2・3
会社概要	4・5
歴史	6・7



Products

循環器関連	8・9
麻酔・手術・整形関連	10・11



Research and Development

研究・開発	12・13
-------	-------

Production

製造・生産管理・品質管理	14・15
--------------	-------



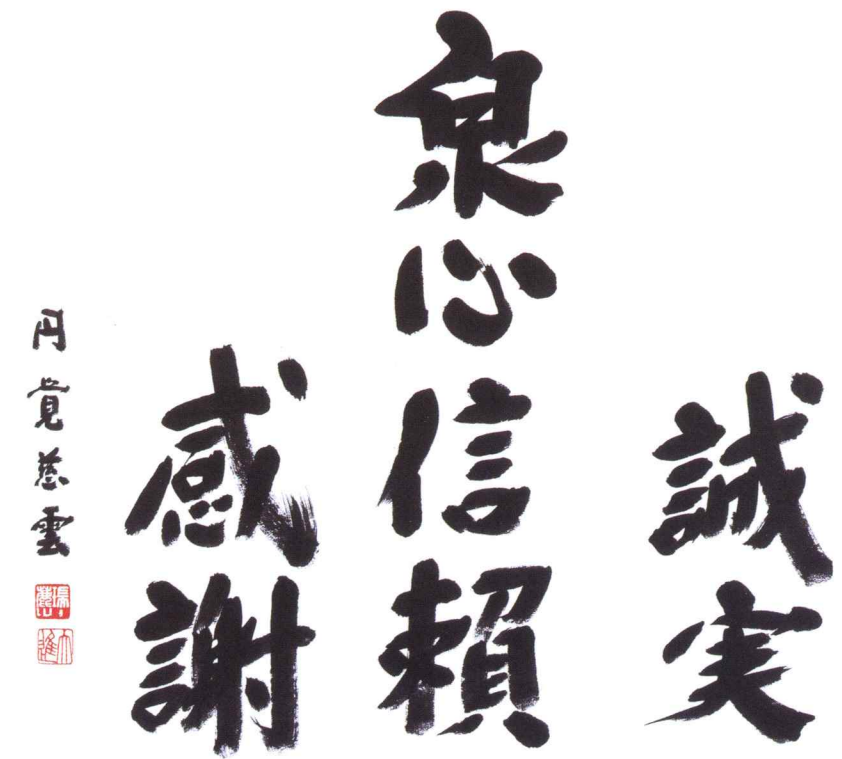
Sales and Maintenance Network

営業・保守管理	16・17
International Trading	18・19



Welfare

福利厚生	20
メラの由来	21



「泉心—誠実、信頼、感謝」これは、私たち泉工医科工業の社訓です。

「泉」は、言うまでもなく社名の頭文字を取ったものであり、さらには「泉のようにつきぬアイデアと、新製品が湧き出るように」という願いが込められています。つまり、常にオリジナリティに溢れた製品の開発を目指すことが、当社に課せられた使命なのです。創業者青木利三郎の言葉による「やる気でやろう」という創業当時の社風は、「泉心」そのものを的確に表現したものにほかなりません。

「泉」には物事の源と誕生、再生、真理という意味もあります。滾々と湧き出る清らかな水を、人の心にたとえるならば、それはまさしく初心です。社員全員が初心忘れる勿れと教えておられます。さらには、泉から流れ出る清水は自分自身をも清くし、他の汚れをも洗い落とす働きを持っています。それゆえに人の心の中にある邪心を、流し去ってくれるのでしょう。「泉」に続く「心」は、当然、世の中がどう変わろうと、すべてを決定する人間の基本となるものであります。時代がいかに変わろうとも、これは不変の真理と言えましょう。

清らかな泉の如き心から発した真心が、誠実となり、自分自身が誠実に人に接するならば、相手も誠実に応えてくれるものと確信しております。そこには必ず信頼が生まれ、相手も変えることができ、信頼し合うことがお互いの感謝につながってゆきます。多くの人々に感謝され、感謝すること。換言すれば、社会に貢献することが、企業の最終目標であると考えます。これが当社の社訓「泉心—誠実、信頼、感謝」なのです。

「泉心」には、もうひとつの意味合いがあります、それは、泉は動を表わし、心は静を表わしているということ。動のみ、あるいは静のみでは、物事は絶対に成り立ちません。動と静が一体となった、所謂「片寄らない」「とらわれない」という心を持って、物事を処すよう「泉心」は教えているのです。泉工医科工業では、全社員が以上のことを十分に理解した上で、日々の業務に真剣に取り組んでおります。これから先も、社訓「泉心」の精神を決して忘れることなく、努力を続けてまいります。

柔軟な発想力と、確かな技術力。そして人々の健康を願う気持ちが、優れた医療機器を生み出します。



代表取締役 会長
青木 眞
Chairman Makoto Aoki



代表取締役 社長
青木 正人
President Masato Aoki

今日の医療は、科学の発展と共に大いなる進歩を遂げています。CT、エコー、MRI、PETなど新しい診断機器の開発によって、体の内部の構造や疾病がより確実に映し出されるようになりました。また、治療面でも先進的な技術を用いた手術が行われ、患者の救命・延命が急速に向上してきました。このような状況の中、当社においても、一步一步着実に歩みを進め、年々売上高も上昇してきました。これは、製品の信頼性はもちろんのことですが、全社員が一丸となって、積極的に営業活動を推進していることによるところが大きいと思います。

安全で高性能な製品を開発すること。そして誠意ある営業を行うことが、人の命に関連する職業に就くものの使命であると強く自覚しています。現代社会においては、感染症のような疾病に代わって、ガンや心臓病、脳卒中といった成人病が疾病の主流となってきました。

このような疾病に対処するための、臨床をもとにした医療材料、機器の開発に、創業以来、一貫して当社は取り組んできました。しかし近年、これらの疾病は、疾患部のみにその原因があるのではなく、人間の内部にも多分にその原因が存在しているということが、現代医学の現場から報告されるようになってきています。

これからの社会の中では、今後ますます人間的な要素、ヒューマンファクターが重要になると、私たちは考えます。単に技術的に優れているだけではなく、人間的な、優しくて温かみのある医療機器づくりが、当社に与えられた使命であると考えます。人の体と有機的に協調しあう医療機器の創出が、未来に向けての私たち泉工医科工業の大きなテーマなのです。

私たちの使命は、優れた医療機器のメーカーとして、社会に貢献することにあります。

1. 私達は人々の健康・生活の質の向上に寄与するために研究・開発します。我が社の製品・サービスを利用する顧客に奉仕し社会貢献を果たします。
2. 私達は収益の確保を目指しますが、それは我が社の製品・サービスを提供し、医療業界に貢献した結果から得る収益です。そのため各部門が協力し、より優れた医療機器を提供できる会社になることです。
3. より優れた企業になるためには、社員が誠実・信頼・感謝の気持ちを持ち、知識・想像力・技能を高めチームワークを重んずることにかかっています。これら社員の熱意と成果に正当な評価がなされ社員とその家族、そして顧客が幸福になることを願います。



About Us

[会社概要] Corporate Profile

より安定した体制で医学に奉仕、健全な経営計画で研究開発を推進

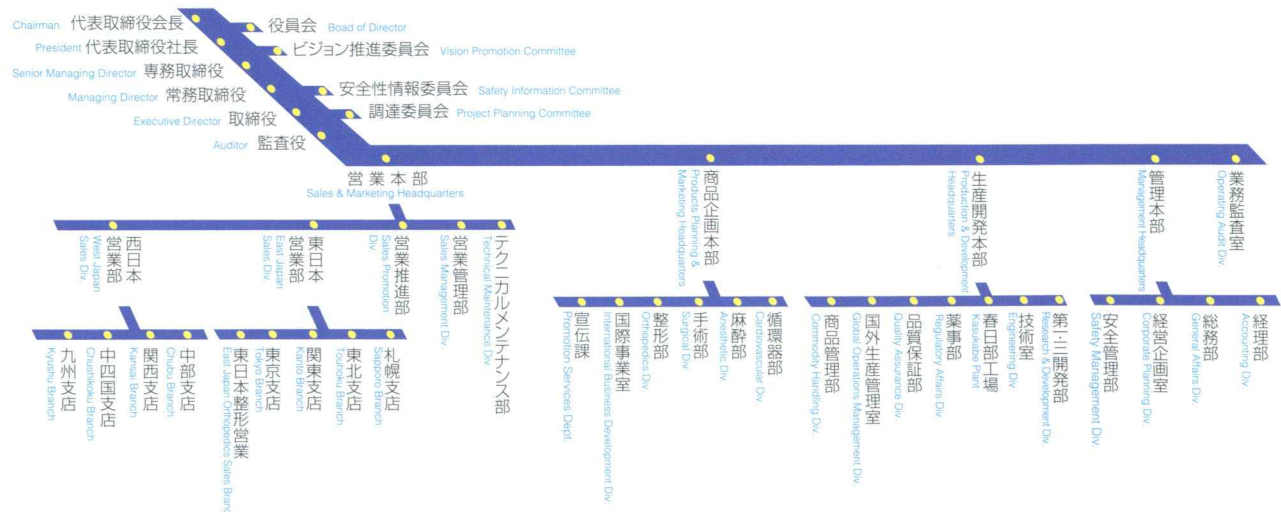
We are vigorously promoting R & D and contributing to the advancement of the medical science based on the solid and sound management planning and systems.

売上げ推移 Sales



■本社 Head Office ■別館 Annex ■第三別館 Third Annex

組織図 Organization chart



■商号: 泉工医科工業株式会社
 Company Name Senko medical Instrument Mfg.Co.Ltd.
 ■代表者: 代表取締役会長 青木 眞
 Top Management Chairman Makoto Aoki
 代表取締役社長 青木 正人
 President Masato Aoki
 ■本社所在地: 東京都文京区本郷3-23-13
 Head office 3-23-13 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033, Japan
 TEL (03)3812-3251 (代表)
 FAX (03)5689-5829
 ■資本金: 3,000万円
 Capital 30Million Yen
 ■設立: 昭和25年5月4日
 Foundation May 4th,1950
 ■決算: 3月(年一回)
 Fiscal Year Starting April
 ■役員: 代表取締役会長 青木 眞
 Board Members Chairman Makoto Aoki
 代表取締役社長 青木正人
 President Masato Aoki
 専務取締役 大平善之
 Senior Managing Director Yoshiyuki Ohira
 専務取締役 神谷勝弘
 Senior Managing Director Masahiro Kamiya
 常務取締役 高橋 貢
 Managing Director Mitsugu Takahashi
 常務取締役 佐藤弘人
 Managing Director Hirohito Sato
 取締役 山本憲一
 Executive Director Norikazu Yamamoto
 取締役 田中克宜
 Executive Director Katsunori Tanaka
 監査役 山沢宣行
 Auditor Nobuyuki Yamazawa

■従業員数: 694名
 Work Force 694Employees
 ■事業内容: ●代表的な人工臓器である人工心臓装置、人工肺、人工弁
 Business Description およびディスプレイ製品の製造販売
 Manufacturing and marketing of heart lung machine, oxygenator, heart valve and relevant disposables
 ●IABP補助循環装置の製造販売
 Manufacturing and marketing of Intra Aortic Balloon Pumping Equipment
 ●手術室で使用される、電気メス、麻酔システム
 およびディスプレイ製品の製造販売
 Manufacturing and marketing of the Electrosurgical Unit, inhalational anesthetic system and single use products
 ●人工関節の製造販売
 Import and distribution of artificial joints
 ●病院機器の販売
 Distribution of Hospital and Clinical Equipment
 ●医療機器の輸出入業務
 Import and export of medical devices

■主要販売先: ●国公立大学医学部附属病院
 Major Accounts Hospitals attached to Medical school of national and public universities
 ●私立大学医学部附属病院
 Hospitals attached to Medical school of Private universities
 ●国公立病院
 National and public Hospitals
 ●国立療養所
 National and public Sanitariums
 ●私立病院・診療所
 Private Hospitals and Clinics

■取引銀行: ●北陸銀行 上野支店
 ●三井住友銀行 上野支店
 ●三菱UFJ銀行 春日町支店
 ●みずほ銀行 根津支店
 ●東京スター銀行 本店
 ●商工中金 新宿支店
 ●りそな銀行 本郷支店
 ●常陽銀行 池袋支店
 ●あおぞら銀行 本店
 ●千葉銀行 秋葉原支店
 ●きらぼし銀行 神田中央支店
 ●朝日信用金庫 湯島支店
 ●日本政策金融公庫 新宿支店

■本社: 東京都文京区本郷3-23-13
 Head Office 3-23-13 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033, Japan
 (営業本部) TEL(03)3815-4009 FAX(03)3812-4899
 Sales & Marketing Headquarters
 (経理部) TEL(03)3812-3253 FAX(03)3812-3316
 Accounting Div.
 (総務部) TEL(03)3812-3258 FAX(03)5689-5829
 General Affairs Div.
 (経営企画) TEL(03)3812-3256 FAX(03)3812-4736
 Corporate Planning Div./Computer System Dept.
 (安全管理部) TEL(03)3814-1847 FAX(03)3812-4736
 Safety Management Div.
 (宣伝課) TEL(03)3813-3906 FAX(03)5689-2337
 Promotion Services Dept.
 ■別館: 東京都文京区湯島2-16-4
 Annex 2-16-4 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0034, Japan
 (薬事部) TEL(03)3812-3951 FAX(03)3812-3957
 Regulatory Affairs Div.
 (整形外科) TEL(03)3812-4811 FAX(03)3812-4808
 Orthopedics Logistics
 (テクニカルメンテナンス) TEL(03)3813-0606 FAX(03)3813-0608
 Technical Maintenance Center Tokyo
 ■第三別館: 東京都文京区湯島2-30-7
 Third Annex 2-30-7 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0034, Japan
 (国際事業室) TEL(03)3812-4819 FAX(03)3815-7011
 International Business Development Div.
 (循環器部) TEL(03)3812-3254 FAX(03)3812-3675
 Cardiovascular Div.
 (手術部) TEL(03)3812-3254 FAX(03)3815-7011
 Surgical Div.
 (麻酔部) TEL(03)3812-3254 FAX(03)3812-4613
 Anesthetic Div.
 (整形科) TEL(03)3812-3254 FAX(03)3812-4613
 Orthopedics Div.
 ■春日部工場: 埼玉県春日部市浜川戸2-11-1
 Kasukabe Plant 2-11-1 Hamakawado, Kasukabe-shi, Saitama 344-0054, Japan
 (春日部工場製造一課) TEL(048)754-5661 FAX(048)763-0291
 Kasukabe Plant Production Dept. No.1
 (春日部工場製造二課) TEL(048)763-1501 FAX(048)754-5663
 Kasukabe Plant Production Dept. No.2
 (品質保証部) TEL(048)763-1585 FAX(048)763-1561
 Quality Assurance Div.
 (春日部物流センター) TEL(048)763-8920 FAX(048)763-8836
 Kasukabe Logistics Center
 (メンテナンス部) TEL(048)763-1557 FAX(048)763-5052
 Technical Maintenance Div.
 ■研究開発センター: 埼玉県春日部市浜川戸2-10-2
 Research & Development Center 2-10-2 Hamakawado, Kasukabe-shi, Saitama 344-0054, Japan
 (開発部) TEL(048)763-1534 FAX(048)763-1560
 Research & Development Div.
 ■岡山物流センター: 岡山県岡山市南区妹尾2355-1
 Okayama Logistics Center 2355-1 Senoo, Minami-ku, Okayama-shi, Okayama 701-0205, Japan
 TEL(086)209-0085 FAX(086)209-0087

最新医療をささえる —— メラ製品

代表的な人工臓器である人工心肺装置、人工肺、手術室で使用される電気メス、麻酔システム及びディスプレイ製品の製造販売を行っております。



メラ人工心肺装置HASⅢ

Mera Heart Lung Machine

メラ人工心肺装置は人工心肺の分野で数多くの実績を積み、そのノウハウを基に企画開発を行ってきました。そしてこの度、新型の人工心肺装置HASⅢが完成しました。“次世代の体外循環”をコンセプトとして、ユーザーの希望に応えられる、高機能、自動制御、高い安全性をを備え、優れた操作性、回路取り回し性を実現しました。

Cardiovascular Surgery

循環器関連製品



IABP駆動装置
Corart BP3 (販売名:コラートBP3)
Intra Aortic Balloon Pump

標準的な使用を想定し専用架台に搭載した標準モデルと、移動性向上と省スペース化による患者管理の負担軽減を図った搬送モデルをご用意しています。使用環境に応じて様々なシーンに対応する筐体と、バックアップ機能の強化、シグナルタワーによる駆動状態報知機能など多数搭載した新機能により安全性の向上を図っています。



メラ遠心血液ポンプシステム
HCS-CFP UNIMO
Centrifugal Blood Pump System

冷温水槽や電子制御式ガスブレンダなどを搭載したシステム全体を、ドライバユニットから集中的に制御可能な補助循環装置です。小型で耐久性の高いメラ遠心ポンプやスタンダードPCPS回路SOLASが使用可能で、高度なECMOなどにも広く対応できます。



メラFHPエクセラン
HPO-21FHP-PR / HPO-21FHP-P
Membrane Oxygenator

動脈フィルタの基本機能(気泡の捕捉・視認・排出)を人工肺と一体化することをコンセプトに開発したフィルタ内蔵型人工肺です。動脈フィルタに倣って設計した独自の構造によって、捕捉した気泡の可視化や酸素加効率の向上など、エクセランは大きな進化を遂げました



メラエクセライン回路TPC

Mera Tubing Pack

人工心肺回路を製造し続けて30年、信頼の高いハンドメイド製造技術と厳しい品質管理、厳選された豊富な部品、ユーザーのニーズに応えるために、いち早く少量多品種に対応したオーダーメイドのシステムを取り入れました。これが1970年の製造開始以来、常にトップのシェアを守り続けてきた理由です。



体外循環用カニューレ フレックスメイト

Cannulae for extracorporeal circulation

体外循環用カニューレ フレックスメイトは送血用、脱血用、ペント用、心筋保護用など豊富な製品ラインナップと成人用から小児用まで幅広いサイズバリエーションを取り揃えています。挿入性、柔軟性、視認性、低圧力損失を最大限に考慮した設計となっています。



メラ吸入麻酔システム PIXYS II

Mera Inhalational Anesthetic System

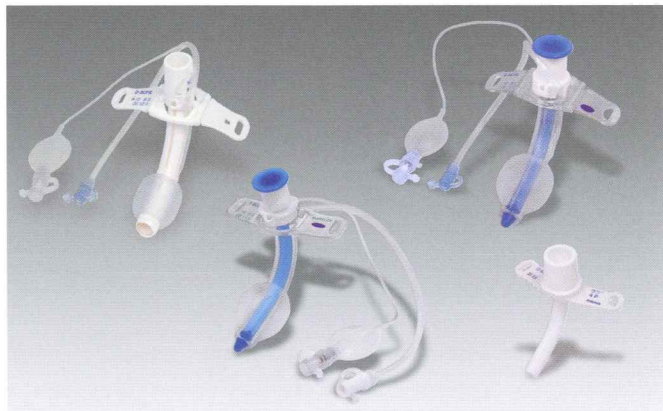
日本の麻酔科医から頂いたご意見、ご要望を形にしました。操作性、視認性、安全性を追求したモデルです。コントロールユニット、ペローズ、アプゾーバを本体に内蔵することで本体をスッキリさせました。換気モードはスタンダードな従量式(VCV)と従圧式(PCV)を搭載し、表示部もシンプルで見やすくまとめました。



人工鼻
ソフィットVENT/モイストラップ

Heat and Moisture Exchangers

気管切開患者用のソフィットVENTには一般成人用の他、新生児～小児に適した軽量・小型のタイプがあります。人工呼吸器/麻酔器接続用のモイストラップシリーズにはフィルタの有・無の他、患者側接続部に回転コネクタを内蔵したタイプやエルボコネクタを付属したタイプも取り揃えています。



気管切開チューブ
メラ ソフィット/ソフィットフレックス/ソフィットクリア/ソフィットラブ
Tracheotomy Tube MERA SOFIT

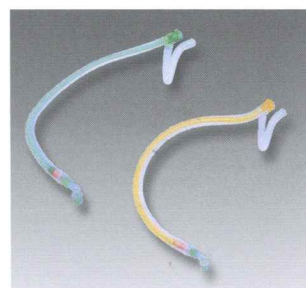
メラソフィット気管切開チューブは、手術、長期の人工呼吸器管理及び呼吸不全患者の気管切開時に用いられます。日本人の体型をもとに設計され、他社にまねのできないソフトなカフとフラップ機構付きネックプレートがあらゆる患者に優しくフィットする国内開発の気管切開チューブです。



カームピュアー呼吸治療器

Sterile Water for Inhalation

カームピュアーは、酸素吸入の閉鎖式加湿システムです。バッグ容量は、250mL、500mL、800mLの3種類で、短期又は長期の使用に合わせて使い分けられます。カームピュアーバッグは、2種類のアダプターを使い分けることにより、ヒューミディファイヤー(気泡式)とネブライザー(エアロゾル)の使用が可能です。



麻酔(呼吸)回路セット
F回路プラスセット

Anesthesia Breathing Circuit

一般的な麻酔用呼吸回路は吸気側、呼気側各々の回路をY字型に繋げたものでした。弊社はその複雑だった2本の回路を同軸型に改良し、一本の呼吸回路へ進化させました。同軸型回路を発売して約30年、さらに呼気回路、吸気回路それぞれの安全性の確認が行える麻酔(呼吸)回路を生み出しました。



メラ高周波ジェットベンチレータ
JP-1

High Frequency Jet Ventilator

当社は1980年代、日本で始めて高周波人工呼吸器を開発・製造いたしました。メラ高周波ジェットベンチレータJP-1はこれまでの医療現場からのご意見と実績を踏まえて開発されました。JP-1は、手術室、ICU、救命救急室には欠かせない緊急医療スタッフの一人です。



電気手術器 ZERUK-W, SHAPPER Dx/mini

Electrosurgical Unit

メラ電気メス ZERUK-Wは世界で唯一のダブル型ハイエンド機種として最新の機能を搭載したモデルです。その他に高性能スタンダード機種種のSHAPPER Dx、対極板モニターを搭載した小型機種種のSHAPPER miniの全3機種をラインアップしています。

Operating Room Ward

手術室・病室関連製品



体内固定用大腿骨髄内釘
アレクサネイル システム

Alexa Nail System

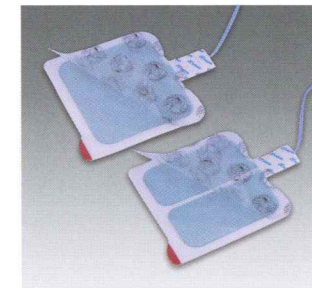
Alexaはあらゆる骨折型に最高の固定をご提供したいとの思いから名付けられました。最高の固定を実現する為にWラグスクリュー、Wテーバー、Rホルルのシステムを採用し、豊富なサイズバリエーションをご用意しました。



電動式低圧吸引器
メラサキューム009 型式 MS-009T

Continuous Suction Unit Mera Suction 009 MS-009T

メラサキュームは体内に貯留した血液や分泌物などを持続的に誘導する電動式低圧吸引器です。幅広い診療科で愛され続けて来た電動式低圧吸引器のトップメーカーとして最新のMS-009Tでは気胸や肺切除後のエアリークの経過管理に役立つトレンド機能を搭載しました。



電気メス用ディスポーザブル導電型対極板
NEジェルパッド

Neutral Electrode Gel Pad

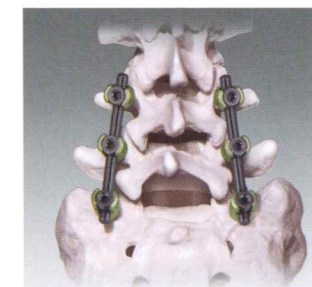
電気メス用ディスポーザブル導電型対極板です。安定した接着力と皮膚刺激の少ないハイドロゲルを採用しています。大人用・小児用を1種類で共用でき、在庫負担を軽減できます。スプリットタイプは、各社対極板接触監視システムに適合します。



メラ ガーゼ付着量測定装置
OBM-21αv(カウンタくん21αv)

Mera Sponge Counter

ガーゼを1枚ずつ投入するだけでガーゼの枚数と付着量がセンサー機能で素早く、正確に表示されます。ガーゼの処理は投入と同時にポリエチレン袋に回収されるので、不潔な物にほとんど触れることがなくなり、感染防止に役立ちます。



脊椎固定用材料
クレオスタビライゼーションシステム

CREO stabilization system

クレオスタビライゼーションシステムは、変性疾患や脊柱変形等の多様な脊椎疾患に対応するようデザインされています。その他、グローバスメディカル社の経皮的ペディクルスクリューシステムや各種ケージ、プレートも取り扱っています。

Anesthesia

麻酔関連製品

Orthopedics

整形関連製品

医療の進歩に貢献する——研究・開発

開発会議

生命の維持に関わる医療機器には、高い信頼性が要求されます。そのため繰り返し行われる開発会議においては、構造・機能から製造方法・保守にいたるまで検討に検討を重ねられ、より高い信頼性を求め必要な技術の開発と改良に努めています。また、使用段階で考えられるトラブルを可能な限り想定し、開発の初期段階からリスクマネジメントを繰り返すことによって、安全に対する入念な配慮に努めています。

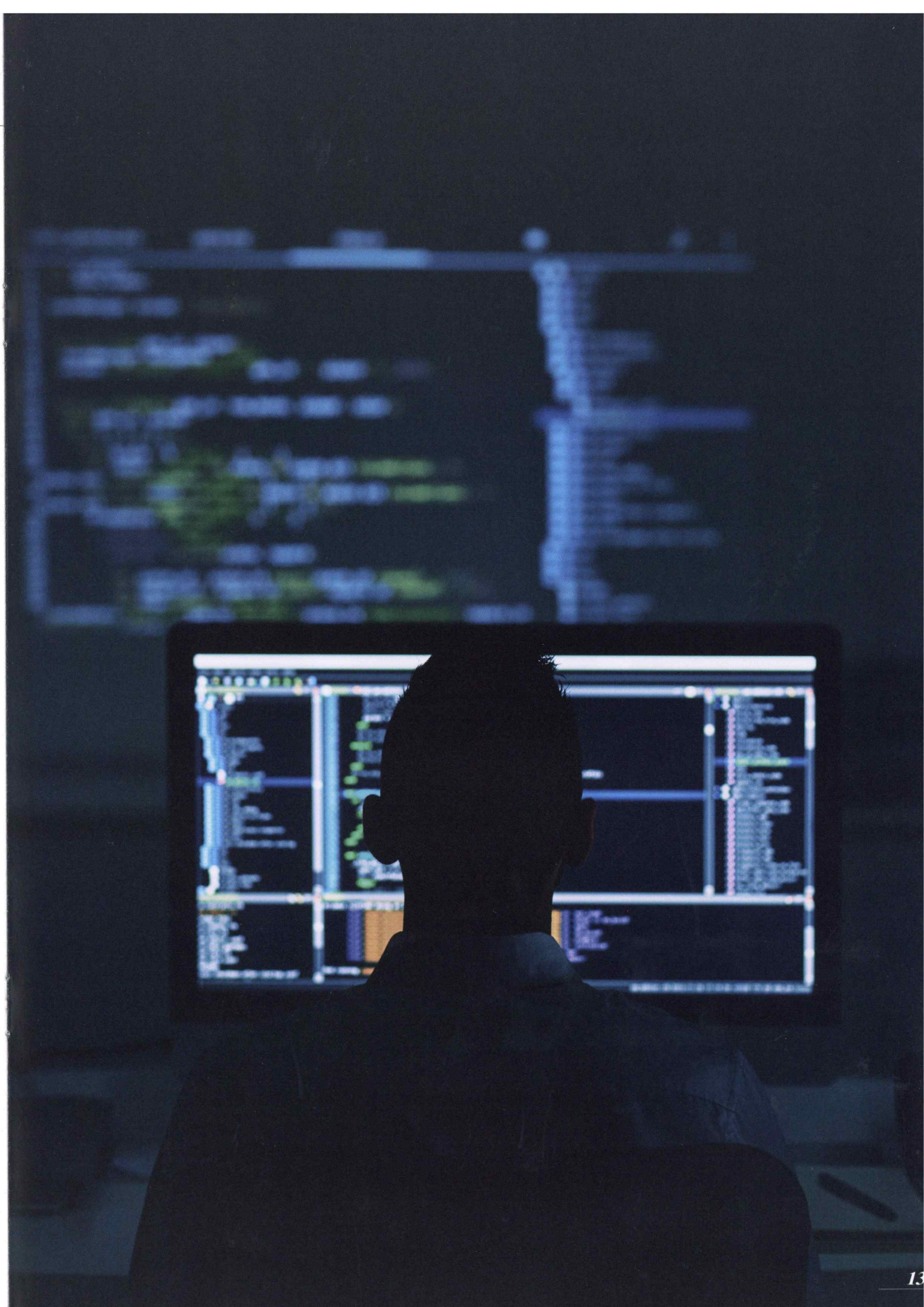
性能テスト

新製品・改良品を問わず、その試作段階においても、繰り返し様々な確認が行われています。性能や機能は十分か、安全性や耐久性に問題はないか、いかなる場合も効率よく本来の機能を発揮できるか、患者の他の器官への影響はないかなど、多方面からのテストでその妥当性を確認しています。さらにそれらの結果やデータは、より完成度の高い製品づくりのために役立てられています。

性能の追求

臨床医学の進歩と相まって、医療機器の研究開発には絶えず積極的な技術革新が必要となります。そしてそれは、臨床医学研究の場と臨床医療器メーカーとの共同作業によってもたらされる信頼性の高いものでなければなりません。当社ではこういった状況を深く理解し、日本初の人工心肺装置を完成させた豊富な経験と実績を基軸に、臨床医学に直結した治療用機器の積極的な開発に取り組んでいます。

■研究開発センター
R&D Center



製品の安定供給のために——製造・生産管理

製品の形態・特性に合わせた専門工場
で高信頼製品をタイムリーに生産してい
ます。受注から出荷まで一貫した管理体
制により、お客さまの要望に答えています。

シングルユース製品

患者さんの血液等に直接接触して使用さ
れる製品は徹底管理されたクリーンルーム
で生産され、滅菌工程を経て清潔で安全
な製品を供給しています。また、お客さま
の要望に答えるための多種少量製造ライン
が特徴で、部材の段階から厳しい検査を
繰り返し、お客さまが満足できる高信頼
製品を生産しています。

装置製品

電子ユニット及び機械ユニットにより構成
される装置製品は、製造ラインで1台毎に
専門スタッフによる性能試験、動作試験を
行い安定した製品を供給しています。高度
な専門技術と最新の計測器により高信頼
製品を実現しています。

■春日部工場 製造一課



■春日部工場 製造二課



■フィリピン工場 (メラセソコーポレーション)



安全と信頼を培う——品質管理

総合的な品質保証体制のために

当社の製品は手術等で使われる医療機
器でありますので、安全で有効でなくて
はなりません。この患者さんや医師から
見た普遍的な要求を基に、医療機器の
品質の維持と向上を図るシステムを定め
た国際規格が「医療機器の品質マネジメ
ントシステムISO13485」です。この
ISO13485は、一般的な品質規格のISO
9001に、医療機器特有の「滅菌バリ
デーション」や「リスクマネジメント」の
特別要求事項が追加されたものです。

顧客情報・購買・設計・保管・納入・保守
サービスの全般に亘って、Plan→Do→
Check→ActionのPDCAサイクル
活動を基に、管理システムを構築・実
行・維持・改善しています。更にリスク分
析の手法によって品質向上を計ると共
に、データ管理システムによるトレーサビ
リティの確保等によって、品質システムを
維持担保しております。



安全管理のために

顧客からの情報を基に安全情報を発信
して医療機器を安全に使用ができるよう
安全管理責任者を任命しています。また、
取り扱い説明書、添付文書の適切化
も図っています。



世界のニーズに応える

当社は、より優れた性能を持つ医療機器を世界中の臨床の場へお届けしたいと願い、1964年に泉工医科貿易を設立。泉工グループと海外を結ぶ、掛け橋として、常にグローバルな視点で日本を、世界を、未来を見渡し、求められる医療機器をスピーディーにそして、的確に供給できるよう努めています。また、最新の技術を搭載する医療用具を日本市場に紹介するのみならず、海外における最先端のテクノロジーを日本の医療業界に移植するために総合的な活動を行うことも泉工医科貿易の重大な業務です。

貿易のメンバーはすべてのメンバーが国際的視野を広げるために国際学会や外国での展示会にも参加するなど、日々努力を重ねています。日本人外国人を問わず世界中の人々が幸せな生活を営むための一助となるよう、今後もいっそう活発な国際活動を続けてまいります。

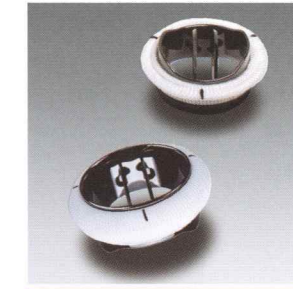
■主な取引先及び取り扱い商品



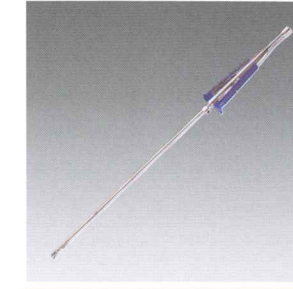
人工股関節システム



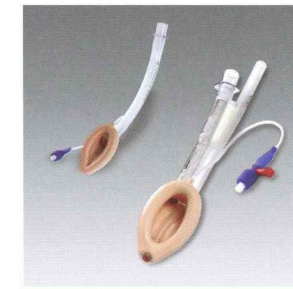
人工膝関節システム



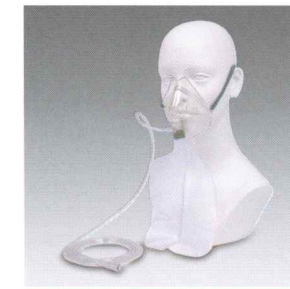
ON-X 機械式人工心臓弁



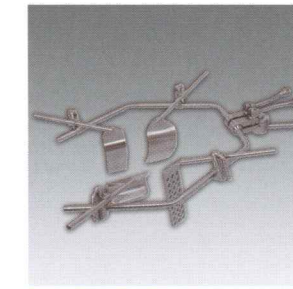
低侵襲手術用器具



ラリンジアルマスク



酸素マスク/鼻腔カニューラ



ボス ロブスターリトラクターシステム



フルーテッドラウンド スパイラルドレーン



吸引器用キャニスタ

■ DJO Surgical社/アメリカ

■ CryoLife社/アメリカ

■ Atri Cure社/アメリカ

■ Teleflex社/アメリカ

■ Salter Labs社/アメリカ

■ BOSS社/アメリカ

■ REDAX社/イタリア

■ SERRES社/フィンランド

● 商品名: エンコア人工膝関節システム、人工股関節システム

● 商品名: ON-X 機械式人工心臓弁

● 商品名: 低侵襲手術用器具(Livインストルメント)

● 商品名: LMA ラリンジアルマスク

● 商品名: 酸素マスク/鼻腔カニューラ

● 商品名: ボス ロブスターリトラクターシステム

● 商品名: フルーテッドラウンド スパイラルドレーン

● 商品名: 吸引器用キャニスタ

豊かな未来へ挑戦する人間企業

当社では、社員同士がお互いの親睦を深め、会社の発展に寄与する豊かな人間性を育めるようレクリエーション活動を行っています。共にスポーツを楽しみ、旅で衣食住を共にするなど、人と人のふれあいを円滑なものにすることによって、明るい健康な職場づくりに貢献しています。



泉山荘 (軽井沢)



泉山荘 (大山)

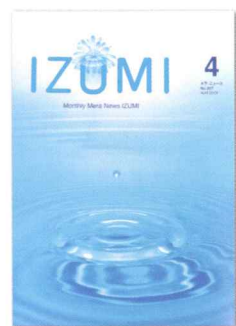


泉海荘 (館山)

■福利厚生

- 施設 泉山荘 (長野県軽井沢) 泉山荘 (鳥取県大山) 泉海荘 (千葉県館山)
家族や職場の仲間と四季を通じて楽しめる別荘地、心身ともにリフレッシュできます。
- 社会保険 健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険
- 厚生文化活動 従業員共通の趣味を生かし、文化・教養・体育・スポーツ等の活動を行っています。

●社内報メラニュース“いずみ”の発行
創刊以来約30年の社内報は毎月発行され、社員相互のコミュニケーションに役だっています。



●クラブ活動・同好会活動
野球部は数々の大会に優勝をとげた実績を誇っています。その他テニス同好会、釣り同好会、囲碁同好会、卓球同好会、ハイキング同好会が、活発な活動をしています。



●社員旅行
2〜3年に一度国内及び海外への旅行を実施しております。複数の旅行地の中から各人の希望により参加することが出来、それぞれが貴重な体験を積んでいます。



[メラマークの由来]

MERAは布良^{めら}と書き創設者青木利三朗会長の出生の地であり、MERAのマークは生地の名より取ったものです。

布良は旧千葉県安房郡富崎村字布良と呼び房総半島の最南端に位置し、半農、半漁の部落であり、直南の無霜地帯の一環として気候に恵まれ、段丘面には花卉、蔬菜、さやえんどうの露地栽培がおこなわれており、また布良の港は最近まで鮪や鰹漁の舟の本拠地としてにぎわいをみせましたが、現在は遠洋漁業の発達につれて衰え、わずかに磯根漁業の小型漁船の停泊港となっています。

昭和29年5月館山市と合併し、現在は館山市に属していますが、波蝕台地と岩礁からなる岩石海岸の豪壮な風光は隣接の根本と並んで

有名で、古来墨客の好んで来遊された土地であり、菊地幽芳の小説「己が罪」のモデルの旧跡もあります。

布良という地名については、房総開拓の神天富命が、上陸された土地と伝えられ、そのためか地名についても、天富命が上陸されたい、土地の人が織って奉った布を命が「大変良い布である」とおほめになって“布良”の地と名づけられたの説話も語り継がれており、また布良はもと目良と書き目標となる良港の意味であろうとの説もあります。あるいは紀州目良村出身の漁民がここに移住して名づけた地名であるとの言い伝えも残っています。



Our brand name, "MERA" has originated from the name of a village where Mr. Risaburo Aoki, the founder of Senko, was born. The village is located at the far south of the Boso Peninsula in Chiba prefecture, facing the Pacific Ocean.

「千葉県 布良港」

